

みずほCustomer Desk Report 2022/03/22 号 (As of 2022/03/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	119.26	1.1043	131.59	1.3160	0.7409
SYD-NY High	119.50	1.1070	131.97	1.3210	0.7424
SYD-NY Low	119.10	1.1010	131.40	1.3128	0.7374
NY 5:00 PM	119.46	1.1017	131.62	1.3169	0.7400

NY DOW	34,552.99	▲ 201.94	日本2年債	-	-
NASDAQ	13,838.46	▲ 55.38	日本10年債	-	-
S&P	4,461.18	▲ 1.94	米国2年債	2.1154	17.41bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.3226	17.74bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.2960	14.48bp
シカゴ日経先物	27,110.00	25.00	独10年債	0.4575	9.20bp
ロンドンFT	7,442.39	37.66	英10年債	1.6355	14.10bp
DAX	14,326.97	▲ 86.12	豪10年債	2.5500	0.00bp
ハンセン指数	21,221.34	▲ 191.06	USDJPY 1M Vol	7.00	0.04%
上海総合	3,253.69	2.61	USDJPY 3M Vol	7.15	▲0.02%
NY金	1,929.50	0.20	USDJPY 6M Vol	7.23	▲0.01%
WTI	109.97	6.88	USDJPY 1M 25RR	-0.30	Yen Call Over
CRB指数	299.562	7.31	EURJPY 3M Vol	9.30	▲0.15%
ドルインデックス	98.50	0.27	EURJPY 6M Vol	9.25	▲0.06%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月18日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI	2月 0.9%/0.6%/-1.0%	0.9%/0.5%/-1.0%
	23:00	米 中古住宅販売件数	2月 6.02m	6.10m
3月19日	01:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演		「パランスシートの早期かつ迅速な縮小を支持」
	02:20	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演		「0.5ポイントの利上げに極めてオープンな姿勢だ」
3月21日	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	2月 1.4%/25.9%	1.7%/26.2%
	21:00	米 ポスティック・アトランタ連銀総裁 講演		「2022年に6回、23年に2回の利上げを予想する」
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	2月 0.54	0.59
3月22日	01:30	米 パウエルFRB議長 講演		「必要なら5月に0.5ポイント利上げ支持の用意」

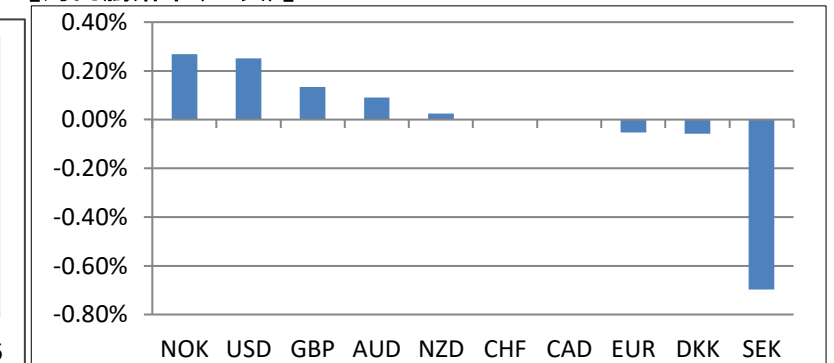
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月22日	12:30	豪 ロウ豪中銀総裁 講演	-	-
	23:35	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
3月23日	00:15	英 カンリフBOE副総裁 講演	-	-
	02:00	欧 レーン・カナダ中銀副総裁 講演	-	-
	03:00	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	119.00-120.00	1.0950-1.1100	130.00-133.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は、118円台半ばでオープンし、日銀金融政策決定会合で日本が金利を上げる理由は全くないとの発言を受け円が売られる一方、週末を控え全般的にドルが買い戻される動きにじり高で推移。NY時間にて、ウォラー理事の50bp利上げに関するタカ派な発言伝わり、短期金利が上昇する展開にドル円も119.40まで上昇する展開となった。

月曜日のドル円は、東京休日となる中、アジア時間は119円台前半での動意に乏しい展開。NY時間にて、パウエル議長が講演で50bpの利上げをも辞さないとの発言を受けて、ドル円は119.50まで高値を更新し、119.46でクローズした。

本日のドル円は堅調推移を予想する。前日の流れを引き継ぎ、米債利回りも大幅に上昇しており、本日もドル買いトレンドと考えられるが、119円台後半では利益確定の売りが想定され、120円台乗せが達成できるかが注目される。また海外時間においてECBやFRB要人発言が多数予定されており、発言内容に留意したい。

アジア	オセアニア時間に119.30まで上昇していたドル円は、119.26レベルでアジア時間に入ると軟調な展開となり、小幅に下落。その後は東京祝日で取引参加者も少なく、動意に乏しい中、午前中の119.14を底値に反転して上昇。朝方からの下落幅を引けにかけて回復し、119.28レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は119.28レベルでオープンし、目新しい材料に欠けるなか、約20銭のレンジで横ばい。119.18レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	リスクオン・オフで海外市場のドル円は方向感がでない中、パウエル議長の講演をNY時間に控え119.14~29での狭いレンジでの推移が続き、119.18レベルでNYオープン。朝方は米主要な経済指標の発表が予定されていない中、米金利が上昇する動きに119.27まで戻す。その後は金利上昇が一旦落ち着く動きに119.12まで反落するが、その後はパウエル議長の講演を控え狭いレンジでの推移が続く。議長の講演の事前原稿では景気よりもインフレ抑制を重視するような内容となり、質疑応答でも「50bpの利上げが適切と思えばする。」「もっと早く動かなければならないと結論を出すかもしれない」等、5月の50bpの利上げ期待を強めるような内容となり、米2年債金利が2.13%台へ上昇する動きに、ドル円は119.50まで上昇する。しかし本邦勢の年度末を控えたパトリの動きも意識される中、上値は限定的となり、119.46レベルでクローズした。一方、海外市場でユーロドルは1.1070まで戻す局面もあったものの、米金利上昇を受けその後は上値を切り下げ1.1031レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続く。正午頃になり独連銀総裁の「インフレに対する行動の遅れのリスクが高まっている」との発言に1.1052まで戻す局面もあったものの、前述のパウエル議長の講演内容を受け上昇していた米短期金利が更に上昇する展開に、ユーロドルは1.1010まで反落し、1.1017レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小林・大谷